

令和5年度 学校経営方針

諫早市立真城小学校 校長 藤井 達也

めざす児童像	やさしいっぱい	・・・	思いやりがあり助け合う子ども（徳）
	かしこしいっぱい	・・・	よく考え工夫する子ども（知）
	たくましいっぱい	・・・	たくましくやりぬく子ども（体）
学校教育目標	生きることに喜びを持ち、自ら奉仕し、共に支え合い、自ら考え、共に学び合い、自ら鍛え、共に磨き合う子どもを育てる。		
教育方針	教育基本法その他の関係法規を基盤として長崎県及び諫早市それぞれの教育方針に則り、児童及び地域の特性、また、真城小学校のこれまでの教育実践の成果を踏まえ、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成に努める。		
めざす学校像	「いい笑顔あふれる学校」「輝く瞳あふれる学校」「光る汗あふれる学校」		
めざす教師像	○子どもと共に喜ぶ職員 ○子どもと共に学ぶ職員 ○子どもと共に働く職員		
学校経営方針	学校教育目標の具現化に向かい、「チーム真城小」という一つの組織体として全職員の英知と力を結集できる学校経営を行う。 【合言葉】 「一人はみんなのために みんなは一人のために」 ～One for all. All for one.～		
経営の3つの信条（真城）	1 一人一人の子どもを大切にする経営 ➡人権尊重の教育と基礎学力向上 2 一人一人の職員を大切にする経営 ➡子どもへの深い愛情と自己研鑽による教師力向上 3 一人一人の保護者を大切にする経営 ➡学校情報の発信、家庭・地域との連携		

教育目標達成の具体的方策

1 「自ら奉仕し、共に支え合う子どもを育てる」・・・心の教育推進プラン

やさしいっぱい：思いやりがあり助け合う子ども（徳）

- ア 道徳教育 ➡ 道徳的価値について学び、自覚を深める道徳の時間の充実を図る。
- イ 人権尊重の教育 ➡ 人権意識を高めて個人のよさや特性を尊重し、いじめに気付き、いじめをなくす態度を育てる。
- ウ 生徒指導 ➡ 秩序ある学校生活を通して、自立的な態度を養うとともに、自分を高めようとする気持ちを育てる。
- エ 体験活動 ➡ 社会体験・自然体験・ボランティア体験・地域交流等を積極的に教育活動に導入する。
- オ 国際理解教育 ➡ 自らの生活や考え方をしっかりもって、異なった文化や考え方と交わり、互いに尊重する心を育てる。
- カ 福祉教育 ➡ 互いに助け合うことの大切さに気付くとともに、自ら考え自ら行動する意欲や態度を育てる。

※ 【家庭】○規範意識 ○手伝い ○親子の会話・団らん 【地域】○あいさつ ○地域交流

2 「自ら考え、共に支え合う子どもを育てる」・・・学力向上プラン

かしこしいっぱい：よく考え、工夫する子ども（知）

- ア 授業改善の工夫 ➡ ○意欲を持たせる指導の工夫 ○基礎・基本的な知識・技能の定着 ○少人数・ＴＴ指導の充実 ○言語活動の充実と思考力・判断力・表現力の向上 ○ＩＣＴ機器・タブレット活用
- イ 読書活動の充実 ➡ ○年間個人目標の設定 ○学年の発達段階に応じた選書
- ウ 学習規律の徹底 ➡ ○学習のきまりの定着（ノートの書き方・話し方・聞き方） ○学習用具の準備（筆箱の中身等）
- エ 学習習慣の定着 ➡ ○家庭学習の手引きを配付 ○家庭と連携して学習時間・学習環境の確保し、学習習慣の定着

※ 【家庭】○家庭学習 ○学習環境 ○メディアコントロールデー 【地域】○学習ボランティア

3 「自ら鍛え、共に磨き合う子どもを育てる」・・・体力向上プラン

たくましいっぱい：たくましくやりぬく子ども（体）

- ア 体力向上の充実 ➡ ○準備運動の工夫・めあてをもった体育の時間 ○外遊びの奨励
- イ 安全教育の推進 ➡ ○保健・安全指導（保健・衛生、校内安全） ○交通安全指導（安全な登下校・自転車運転）
○食育推進 ○避難訓練（火災・地震・津波・台風・豪雨・不審者等）

4 環境づくり ➡ ①心を磨く運動 ②安全・安心な校内環境づくり ③情操を育む環境づくり

5 家庭・地域との連携 ➡ ①学校からの情報発信 ②家庭と連携した基本的な生活習慣・学習習慣の定着
③地域ボランティアの活用 ④教育活動公開

6 特別支援教育の推進 ➡ ①支援が必要な子どもの情報共有の定期的な会の実施
②特別支援コーディネーター・特別支援学級担任を中核に、特別支援教育への理解と指導体制の充実
③相互理解を促進するための特別支援学級と通常学級との交流及び共同学習の推進
④特別支援学級・特別支援学級に対する保護者・地域への周知と理解